

日本防災士会

奈良県支部 広報

オフィシャル・ホームページ

<http://bousainara.com>

- イベント情報・研修報告・防災豆知識等、随時更新中！
- 防災研修会・講演会等へ、講師を派遣します。

■連載第一回

災害図上訓練「DIG」を広めよう！

日本防災士会奈良県支部 山口正春

はじめに

防災士のみなさんに是非広めていただきたいのが、災害図上訓練「DIG」だ。今年6月に「奈良市防災センター」にて実施した、『災害図上訓練「DIG」研修会』の担当者として、参加者のみなさんに伝えたかったことの確認をしようと思う。

「DIG」については、富士常葉大学環境防災学部准教授の小村隆史氏のホームページに掲載されているので『DIG (Disaster Imagination Game)「納得して地域と付き合う」ためのワークショップ型災害図上訓練のすすめ(消防防災2004秋季号(10号)、以下「DIG マニュアル」という。)]を一読していただきたい。

私はこの DIG マニュアルを、密かに DIG のバイブルと呼んでいる。DIG を実施する上で疑問が生じた時にこのマニュアルを幾度も読み返すようにしている。

特に DIG マニュアルの中で、①小村氏が地図にマジックで色を塗る「塗り絵」、②防災・災害救援に関わる拠点や施設、人的資源リストの確認作業の「財産目録づくり」、③「健康診断」、④「健康指導」、そして、発表(意見・発見・結論の共有化)というプロセスの説明と、この「塗り絵」・「財産目録づくり」などの表現が、今実施している作業の的を射ていると思うので、しばしば研修会の中で使わせてもらっている。

さて、6月に実施した『奈良県支部災害図上訓練「DIG」研修会(以下、「DIG 研修会」という。)]のコンセプトは、次のとおり4つある。

災害図上訓練「DIG」とは

Disaster (災害) **Imagination** (想像力) **Game** (ゲーム)

「DIG」

英語 dig [動詞] : 「掘り起こす、探求する、理解する」

「防災意識を掘り返す」、「地域を探求する」、「災害を理解する」といった意味が込められています。

災害図上訓練「DIG」を広めよう！

1. 大きな地図をつくる「4×3印刷」

一つ目は、DIGを広める上でネックになる、大きな地図の作成である。

今回は、「Yahoo LatLongLab 4x3 印刷(<http://latlonglab.yahoo.co.jp/4x3/>)」を紹介する。



この方法は、研修会の3週間前に東京で消防庁のある課長補佐から仕入れた方法だ。

ホームページには、「4x3(よんさん)印刷はお好みの場所の地図を自動的に複数の紙に分割印刷し、それを繋ぎ合わせることで1枚の巨大な地図印刷を行うサービスです。悪の秘密結社の本部にあるような大きな地図をご自宅でお楽しみ頂けます。」と書かれており、A4用紙に横10枚、縦4枚の大きな地図を作成することができる。

実際に印刷し、繋ぎ合わせると、その出来映えにわくわくしてくる。当日の「DIG 研修会」で、大きな地図を是非自ら作成していただきたいと思い、研修会の午後のプログラムの開始前に地図づくりを取り入れたのであった。

2. 「奈良県地震防災対策アクションプログラム」の基本理念と減災目標

二つ目は、奈良県が防災を進める上で、何を目標としているかを知って欲しかった。

私は、各市町村で DIG をする前には、必ずその市町村の地域防災計画の被害予測を読むようにしている。現在の「奈良県地域防災計画」は、平成16年10月に公表された「第二次奈良県地震被害想定調査報告書」が元になっている。もちろん、皆さんの市町村の被害予測も書かれている。

奈良県で最も被害が大きいと予測されているのは、奈良盆地東縁断層帯が動く地震である。県内の死者は、5, 153人と予測されている。この被害を減災するために専門家により検討・作成されたものが「奈良県地震防災対策アクションプログラム(平成18年)」である。

県は、アクションプログラムの基本理念と減災目標を次のとおり定めている。

◆基本理念

21世紀前半の地震活動期を生き抜くため、防災協働社会を実現し、安全・安心の奈良県づくりを目指す。

◆減災目標

大規模地震発生時の想定人的被害を、今後10年間で半減。(基準値:5, 153人(2004年想定))

このアクション目標を推進するため301のアクション項目を設定している。県内市町村でも、橿原市、天理市が平成19年3月制定、香芝市が平成20年3月制定、生駒市が平成20年6月制定、大和郡山市が平成20年12月に制定しており、他の市町村も続いて制定してほしいと思う。

しかし、すでに平成18年から5年目に入った。あと5年あまりで減災目標を達成することができるのだろうか。死者予測値5, 153人を半減するにはどうすればいいかを考えてほしい。

(以下、3・4.は次号に続く...)



■ 総合訓練参加報告

1. 奈良県防災総合訓練

平成22年8月28日、吉野郡大淀町(平畑運動公園隣接地)にて、快晴の中「奈良県総合防災訓練」が行われました。当支部もブースを設置し、啓蒙活動を行いました。当支部が実際に総合訓練へ参加することに関しては、今後の課題です。

◆訓練の目的

本訓練は、「災害対策基本法」及び「地域防災計画」に基づき、防災関係機関等の参加と住民の協力を得て総合的な防災訓練を行うことにより、防災関係機関等の連携体制の強化及び住民の防災意識の高揚を図ることを目的として実施した。

◆訓練想定

午前9時4分頃、大淀町付近を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生。それにより、建物家屋の倒壊、火災の発生、道路の損壊、河川の決壊、水道・電気・ガス・電話などの施設の被害が発生したと想定。

奈良県及び大淀町は「災害対策本部」を設置し、その対策の一環として各防災機関に出動を要請した。



2. 奈良市防災総合訓練

平成22年9月2日、奈良市鴻池運動公園中央広場にて、「奈良市防災訓練」が行われました。当支部もブースを設置し、防災啓蒙活動(広報誌の配布等)を行いました。

◆訓練の目的

本訓練は、大規模な地震災害に備えるため「災害対策基本法」及び「奈良市地域防災計画」に基づき、地域住民等の参加のもと総合的な防災訓練を実施し、防災体制の充実強化と市民の防災意識の高揚を図ることを目的とした。

◆訓練想定

午前9時25分頃、マグニチュード7.2の地震が発生。震源は、奈良県北東部県境付近。震源の深さは、約10km。

特に奈良市において、家屋の倒壊、道路の損壊、火災の発生、河川の堤防の亀裂のほか、水道・ガス・電気・電話の各施設にも被害が発生し、死傷者が相当出た模様。奈良市は「災害対策本部」及び「現地対策本部」を設置し、対策にあたりと共に、各防災関係機関に出動を要請した。



■ 奈良県支部「生駒市ブロック」結成！

奈良県生駒市は県北西部の南北に長く位置し、人口12万人。市民の三分の一は、西に隣接する大阪府に通勤・通学しています。また、市内や周辺には活断層があります。

市内の防災活動に寄与すべく、生駒市在住の支部員が集まり、当支部の「生駒市ブロック」を平成22年に立ち上げました。生駒市ブロックに所属する支部員は13名(平成22年11月20日現在)で、年齢も仕事も様々です。

生駒市ブロックは、「生駒市 市民活動推進課 市民活動推進センター”ららポート”」の所属団体に登録しており、資料等は、ららポートの団体紹介コーナーにも展示しております。

当ブロックの活動は始まったばかりです。今後は多くの市民の方々に、防災や防災士の活動を知っていただき、私たちの仲間を増やして行きたいと思っています。また、市内での災害発生時にすみやかに対応できるよう、日頃から活動すると共に、行政・自主防災会・他団体との連携や、大阪府からの帰宅困難者対策に取り組んでまいります。みなさまのご指導をお願い申し上げます。

尚、平成23年2月26日(土)の10時から15時まで「生駒市コミュニティセンター”セイセイビル”(近鉄生駒駅から南に徒歩5分)」にて開催される「ららまつり(ららポート登録団体の発表の場)」で、「AED 模擬体験」を予定しています。

みなさまのお越しをお待ちしております。



日本防災士会奈良県支部 事務局次長 (生駒市ブロック担当) 平井紳二

■ 兵庫県佐用町の「災害ボランティア」に参加して



平成22年8月29日に、兵庫県佐用町で「感謝のつどい」が開催されました。これは、平成21年に発生した「台風9号」の被害の救援のために、佐用町に駆けつけたボランティアの方々に感謝を伝える機会として開催されました。

私は、昨年の佐用町豪雨災害からどれくらい復興しているか気になっていたので参加しました。私が災害ボランティアとして駆けつけた当時は、町中が泥と埃ばかりで、いつ終わるとも分からない作業に、被災者の方々の負担を少しでも減らせればと、懸命だったのを思い出しました。

「感謝のつどい」当日、式典が始まるまで時間があつたので、ボランティア活動をした被災者宅にご挨拶にうかがいましたが、笑顔で迎えてくださり、その後の話などを、色々とお聞かせいただきました。最後に、「災害ボランティアの方々には、町中の人々が感謝している。」と力強く言っていた事は、大変励みになりました。

災害ボランティアに参加して、実際に水害の脅威を知り、また被災者の方々の気持ちを知る事ができました。これらを、今後の防災士としての活動に活かしていきたいと思っています。

日本防災士会奈良県支部 奥田 仁

■発行日：2010年12月15日

■発行者

日本防災士会奈良県支部 支部長 木本喜信

〒631-0014 奈良県奈良市朝日町 2-395-10

■事務局

日本防災士会奈良県支部 事務局長 植村信吉

〒636-0215 奈良県磯城郡三宅町上但馬 1-5

電話：090-8378-1106

E-mail：bousaishikai_nara@yahoo.co.jp